

## 「地域の絆再生を担うのはクラブだ！」

### スポーツ以外のジャンルからの助成・補助金獲得

～烏山スポーツユニオン（東京都世田谷区）

#### 1. 区の「地域の絆再生支援事業」とは

世田谷区では平成20年度から、地域のコミュニティづくり・支え合いの再生を支援する事業として、町会・自治会などの地縁団体とつながりを持ち、地域の課題解決に貢献する市民活動団体に補助金を交付しています。（名称：地域の絆再生支援事業、文末関連リンク参照）

世田谷区烏山地域で活動している烏山スポーツユニオン（以下「ユニオン」）では、20～60代という幅広い年齢層の女性を対象として、いろいろなスポーツ種目の体験やスポーツ観戦、さらにバスハイキングツアーなどの多彩なプログラムを提供しています。

このことによって、地域で活躍する女性の新たなグループを創ろうという提案により、20～30万円の補助金をこの2年間いただき活動を活性化させています。

科目は謝金・消耗品・印刷費・保険料・通信費などですが、科目流用する場合はすべて計画変更申請を出さなければならず、少々面倒です。そのため、本来のクラブ事業は会費による自主運営を基本としています。

#### 2. 補助金獲得の経緯

この補助金を獲得するきっかけは、烏山総合支所との連携が鍵でした。

普段から印刷機をお借りしたり、地域活動で顔を合わせたりして、職員の方と交流があるのですが、ある時「土屋さん、こんな補助金が地域での活動に対して出ますよ、申請してみたらいかがですか？」と声をかけてくれました。

また、申請書類を作成する時は市民活動推進課（所管部署）に何度も足を運んで、事業の趣旨や対象経費の確認をしました。その結果、審査会も無事通過し、クラブとして新たな事業を始めることができました。

世田谷区の場合は「市民活動推進課」が所管となりますが、皆さんの行政のHPを検索して似たような課がないか、募集している補助金がないか、調べてみたらいかがでしょう。

ただし、募集は4～6月、交付決定・入金は7～8月というのがほとんどのスケジュールだと思うので、たとえ補助金が出なくとも運営できるような計画の策定が必要です。もちろん、補助金の申請ならびに結果報告には、所定の書式による書類作成と領収証の整備などが必須です。

クラブが地域社会で公的な評価を得るためにも、要求された水準をきちんとクリアする努力を怠ってはいけないと思います。

#### 3. クラブを媒介に「地域の絆」が生まれる

初めのうちは「私はヨガだけ参加するわ」と言っていた人が、「ラクロスも面白いわね」とチームスポーツの魅力に目覚めていったり、それまで顔見知り程度だった者同士が、バスツアーの座席が隣合せとなり安全パトロールの話題で盛り上がったり、と地域の仲間の輪がつながっていき、スポーツクラブを媒介に「地域の絆」が生まれてきていることを実感しています。

「地域貢献」や「コミュニティの活性化」を理念としているクラブは多いと思います。また、これまで行政が担ってきたことを地域住民が肩代わりすることによって、より一層の成果をあげようとする試みは全国各地で行われているのではないのでしょうか。

#### 4. スポーツの枠を超えた地域活動の拠点へ

今年度、烏山地域でこの補助金を受けている団体のプログラムは、「絵本の読み聞かせ」「押し花作り」「あいさつキャンペーン」「防犯パトロール」などで、スポーツ関係の団体はユニオンだけです。

自治体としてもスポーツクラブはスポーツをするだけの集まり、という感覚が普通だと思います。

しかし、せっかく幅広い年代の地域人材が集まっているのですから、エコや防犯・防災、子育て支援などクラブ活動の可能性は広いはずですよ。

スポーツの持つ力を社会に認知してもらうためにも、スポーツ振興を目的とした助成・補助金にのみ目を向けるのではなく、こういった事業を通じてクラブの活動の幅を広げてみませんか。また、自分達がこのクラブで、この地域で、いったい何をしたいのか、していくのか、クラブの理念を改めて考えるきっかけにもなると思います。

最後に自治体担当者の方に提案です。このような地域活動を対象とする助成事業は、従来の所管による縦割り行政の弊害を突破し、地域でさまざまな趣旨の活動をしている団体のネットワークをつくる好機です。ぜひ、地域に情報を集積する拠点を整備し、そこに住民が自由に出入りできるような場をつくってください。行政の仕事がずいぶん楽になると思いますよ。

(土屋由紀 東京都クラブ育成アドバイザー)

#### 【烏山スポーツクラブユニオン・プロフィール】

##### 1. 設立

設立年：平成 18 年 3 月

設立母体・経緯：体育指導委員の呼びかけに応じた小中学校 PTA、NPO、日本女子体育大学などの協力により、現在も「スポーツを通じた地域でのネットワーク作り」を理念として活動している。

##### 2. 地域

人口：約 10 万人（活動地域は世田谷区烏山総合支所管内）

地域特性：戦中疎開してきた寺院が集まる「寺町」や今も点在する畑など、世田谷でものどかな面影が残る地域である。

##### 3. クラブ

会員数：約 170 名

予算規模：約 500 万円 toto などの助成金を活用し、常に地域に新しい仕掛けを投げかけていこうと考えている。

##### 4. 連絡先

〒157-0062 世田谷区南烏山 4-26-1（世田谷区立烏山中学校内）

TEL・FAX 03-3305-6038 Email:k-scu@yahoo.co.jp

HP [http://kouiki-sports-tokyo.jp/sportsclub/search/static/search\\_detail\\_34.html](http://kouiki-sports-tokyo.jp/sportsclub/search/static/search_detail_34.html)

関連リンク：世田谷区 HP「地域の絆再生支援事業」について

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00017730.html>

関連リンク：土屋由紀氏プロフィール（下の段）

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/13.html>